



みなさんが主体となって行う事業を

平成21年度「まちづくり助成事業」では、地域・集落あるいはNPO法人など、町民の自主的な団体が自分たちの手でまちづくりに関する事業を行う場合、その経費の一部を助成しました。

地域づくりに関する事業や生涯学習、歴史文化事業、団体直営事業など地域のかたがたが主役となった6件の事業が対象事業として取り組まれました。

平成21年度に応援した事業

1 地域づくり事業

折居遊園地内危険防止柵設置事業

申請団体 滝野区 代表者 区長 小林正義
 認定事業費 157,500円 助成金 78,000円

近隣住民や幼児児童の憩いの場や遊びの場となっている「折居遊園地」の敷地北側の斜面に、転落防止用の安全柵を設置しました。
 より安全に安心して遊ぶことができる環境の充実が図られました。



原のしだれ桜保存事業

申請団体 原のしだれ桜保存会 代表者 会長 金田芳宏
 認定事業費 273,000円 助成金 136,000円

樹齢500年と言われる「原のしだれ桜」の一部分の枯れ枝を、クレーンを利用して専門業者による除去を行いました。枯れ枝落下防止の安全対策として、また、枯れ枝が幹にかける負担を少なくして樹勢回復を目的に実施しました。



2 生涯学習、歴史・文化事業

養蚕文化遺産保存修復事業

申請団体 桜の里づくり推進委員会 代表者 会長 今野國善
 認定事業費 529,305円 助成金 264,000円

明治36年に制作され西高玉地内に伝わる繭（まゆ）で描かれた「繭文字額」が、劣化損傷が著しいため保存修復作業を行いました。養蚕の繁栄と織物の技術向上等を願って制作された文化財が、百余年の時を経て再び立派に蘇りました。



荒砥地区子獅子育成事業と今後の使命の冊子発行事業

申請団体 荒砥地区子獅子育成保存会 代表者 会長 芳賀康雄
 認定事業費 470,000円 助成金 235,000円

荒砥・十王地区の子どもたちが継承してきた獅子舞の保存会活動が20年の節目を迎えたことから、これまでの足跡と今後の使命についての冊子を発行しました。
 今後の更なる元気な地域づくり、明るいまちづくり活動に子獅子の役割が期待されています。



3 イベント・交流事業

Long Ride しらたか事業

申請団体 NPO法人しらたか 代表者 理事長 清野國夫
 認定事業費 895,000円 助成金 400,000円

「サイクリング」と「音楽」を融合する自転車塾（塾長：近藤房之助氏）イベントを開催しました。近年のエコ意識の向上等によって「自転車」が脚光を浴びており、今後、白鷹町をサイクリングコースとしてPRするDVDの制作も行いました。



4 チャレンジ事業

FOODエコプロジェクトしらたか事業

申請団体 しらたか地域資源活用共同研究体 代表者 代表 太田荘一郎
 認定事業費 593,010円 助成金 265,000円

豆腐店から出される「おから」や製菓店から出される「小豆の皮」などの廃棄物を有効活用してペットフードや飼い主用のおやつを開発し、そのパッケージ開発や試験販売を実施しました。資源循環型社会をペットフードやおやつをテーマに実証実験を行いました。

